

2. 概要

2-1 入港船舶の概要

宮城県全港湾入港船舶前年比較表

港別（港區別）		令和4年（A）	構成比（%）	令和3年（B）	増減（A）-（B）	前年比（%）
合 計	隻 数	26,514	100.0	23,756	2,758	111.6
	総トン数	54,679,710	100.0	51,340,297	3,339,413	106.5
仙 台 塩 釜 港	隻 数	22,919	86.4	19,352	3,567	118.4
	総トン数	54,402,977	99.5	51,075,465	3,327,512	106.5
仙 台 塩 釜 港 （ 仙 台 港 区 ）	隻 数	5,825	22.0	5,874	49	99.2
	総トン数	46,585,058	85.2	43,865,298	2,719,760	106.2
仙 台 塩 釜 港 （ 塩 釜 港 区 ）	隻 数	7,646	28.8	6,389	1,257	119.7
	総トン数	2,678,116	4.9	2,482,842	195,274	107.9
仙 台 塩 釜 港 （ 石 巻 港 区 ）	隻 数	2,370	8.9	2,384	△ 14	99.4
	総トン数	4,429,232	8.1	4,219,134	210,098	105.0
仙 台 塩 釜 港 （ 松 島 港 区 ）	隻 数	7,078	26.7	4,705	2,373	150.4
	総トン数	710,571	1.3	508,191	202,380	139.8
気 仙 沼 港	隻 数	259	1.0	224	35	115.6
	総トン数	106,976	0.2	81,932	25,044	130.6
そ の 他 港 湾	隻 数	3,336	12.6	4,180	△ 844	79.8
	総トン数	169,757	0.3	182,900	△ 13,143	92.8

令和4年における宮城県内全港湾の入港船舶の合計は、隻数が26,514隻、総トン数が54,679,710総トンであり、前年と比較して、隻数で2,758隻（11.6%）増加し、総トン数では3,339,413総トン（6.5%）増加している。

各港別の隻数については、仙台塩釜港が22,919隻で宮城県内全港湾の86.4%を占めて最も多く、そのうち塩釜港区が7,646隻で、宮城県内全港湾の28.8%を占めている。

総トン数については、仙台塩釜港が54,402,977総トンと宮城県内全港湾の99.5%を占め、そのうち仙台港区が46,585,058総トンと宮城県内全港湾の85.2%を占めている。次いで、石巻港区が4,429,232総トンで宮城県内港湾の8.1%、塩釜港区が2,678,116総トンで、宮城県内全港湾の4.9%となっている。

宮城県全港湾平均船型の推移

（単位：総トン）

港別（港區別）	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
全 港 湾	1,757.2	1,682.5	2,136.4	2,161.2	2,062.3
仙 台 塩 釜 港	2,102.4	2,000.2	2,535.3	2,639.3	2,373.7
仙 台 塩 釜 港（仙 台 港 区）	7,414.7	7,500.7	7,519.1	7,467.7	7,997.4
仙 台 塩 釜 港（塩 釜 港 区）	363.7	326.3	385.3	388.6	350.3
仙 台 塩 釜 港（石 巻 港 区）	1,624.6	1,865.8	1,644.9	1,769.8	1,868.9
仙 台 塩 釜 港（松 島 港 区）	93.8	87.6	97.6	108.0	100.4
気 仙 沼 港	722.9	683.8	505.3	365.8	413.0
そ の 他 4 港	38.9	39.1	50.8	43.8	50.9

2-2 海上出入貨物の概要

宮城県全港湾海上出入貨物前年比較表

区 分		令和4年 (A)	構成比 (%)	令和3年 (B)	増減 (A)-(B)	前年比 (%)
合 計		38,900,801	100.0	39,118,054	△ 217,253	99.4
外貨貨物	輸 出	1,460,018	3.8	1,312,049	147,969	111.3
	輸 入	10,517,014	27.0	10,916,859	△ 399,845	96.3
	計	11,977,032	30.8	12,228,908	△ 251,876	97.9
内貨貨物	移 出	11,523,425	29.6	11,876,173	△ 352,748	97.0
	移 入	15,400,344	39.6	15,012,973	387,371	102.6
	計	26,923,769	69.2	26,889,146	34,623	100.1

令和4年における宮城県内全港湾の取扱貨物量の合計は 38,900,801 トンであり、前年と比較して 217,253 トン (0.6%) 減少している。

そのうち、外貨貨物は 11,977,032 トンで全体の 30.8%、内貨貨物は 26,923,769 トンで全体の 69.2% となっている。

宮城県全港湾主要取扱貨物前年比較表 (82品目)

品 種		令和4年 (A)	構成比 (%)	令和3年 (B)	増減 (A)-(B)	前年比 (%)
合 計		38,900,801	100.0	39,118,054	△ 217,253	99.4
999 自航(フェリー)		9,068,410	23.3	8,785,680	282,730	103.2
252 完成自動車		6,147,687	15.8	6,443,279	△ 295,592	95.4
171 原油		3,897,725	10.0	3,670,740	226,985	106.2
320 揮発油		1,820,169	4.7	1,691,403	128,766	107.6
321 その他の石油		1,328,679	3.4	1,255,941	72,738	105.8
131 石炭		1,284,098	3.3	1,171,750	112,348	109.6
その他の		15,354,033	39.5	16,099,261	△ 745,228	95.4

取扱貨物については、自航(フェリー)が 9,068,410 トンと取扱貨物量全体の 23.3%を占め、前年と比較して 282,730 トン (3.2%) 増加している。

自航(フェリー)を除いた主な品種は、完成自動車、原油、揮発油であり、それらで取扱貨物量全体の 30.5% を占めている。

(1) 輸 出

宮城県全港湾主要輸出貨物前年比較表（82品目）

品 種	令和4年(A)	構成比(%)	令和3年(B)	増減(A)-(B)	前年比(%)
合 計	1,460,018	100.0	1,312,049	147,969	111.3
351 化 学 薬 品	232,650	15.9	173,652	58,998	134.0
481 金 属 く ず	210,294	14.4	234,808	△ 24,514	89.6
451 ゴ ム 製 品	207,883	14.2	196,531	11,352	105.8
320 揮 発 油	207,309	14.2	102,724	104,585	201.8
222 鋼 材	142,615	9.8	138,097	4,518	103.3
311 重 油	109,274	7.5	50,716	58,558	215.5
そ の 他	349,993	24.0	415,521	△ 65,528	84.2

輸出は 1,460,018 トンで、貨物量全体の 3.8%であり、前年と比較して 147,969 トン（11.3%）増加している。

主な品種は、化学薬品、金属くず、ゴム製品であり、それらで輸出全体の 44.5%を占めている。

(2) 輸 入

宮城県全港湾主要輸入貨物前年比較表（82品目）

品 種	令和4年(A)	構成比(%)	令和3年(B)	増減(A)-(B)	前年比(%)
合 計	10,517,014	100.0	10,916,859	△ 399,845	96.3
171 原 油	3,434,947	32.7	3,410,132	24,815	100.7
131 石 炭	1,013,481	9.6	939,615	73,866	107.9
111 木 材 チ ッ プ	877,343	8.3	933,957	△ 56,614	93.9
322 L N G（液化天然ガス）	797,126	7.6	912,436	△ 115,310	87.4
323 L P G（液化石油ガス）	710,766	6.8	754,206	△ 43,440	94.2
320 揮 発 油	664,858	6.3	745,914	△ 81,056	89.1
そ の 他	3,018,493	28.7	3,220,599	△ 202,106	93.7

輸入は 10,517,014 トンで、貨物量全体の 27.2%を占めており、前年と比較して 399,845 トン（3.7%）減少している。

主な品種は、原油、石炭、木材チップであり、それらで輸入全体の 50.6%を占めている。

(3) 移 出

宮城県全港湾主要移出貨物前年比較表（82品目）

品 種	令和4年 (A)	構成比 (%)	令和3年 (B)	増減 (A)-(B)	前年比 (%)
合 計	11,523,425	100.0	11,876,173	△ 352,748	97.0
999 自航(フェリー)	4,391,275	38.1	4,247,875	143,400	103.4
252 完成自動車	3,533,240	30.7	3,847,583	△ 314,343	91.8
311 重油	895,990	7.8	1,210,024	△ 314,034	74.0
451 ゴム製品	568,076	4.9	542,715	25,361	104.7
351 化学薬品	253,050	2.2	282,423	△ 29,373	89.6
255 自動車部品	198,725	1.7	190,030	8,695	104.6
その他	1,683,069	14.6	1,555,523	127,546	108.2

移出は 11,523,425 トンで、貨物量全体の 29.6%を占めており、前年と比較して 352,748 トン（3.0%）減少している。そのうち、自航(フェリー)が 4,391,275 トンと移出全体の 38.1%となっており、前年と比較して 143,400 トン（3.4%）増加している。

自航(フェリー)を除いた主な品種は、完成自動車、重油、ゴム製品であり、それらで移出全体の 43.4%を占めている。

(4) 移 入

宮城県全港湾主要移入貨物前年比較表（82品目）

品 種	令和4年 (A)	構成比 (%)	令和3年 (B)	増減 (A)-(B)	前年比 (%)
合 計	15,400,344	100.0	15,012,973	387,371	102.6
999 自航(フェリー)	4,677,135	30.4	4,537,805	139,330	103.1
252 完成自動車	2,592,045	16.8	2,587,962	4,083	100.2
281 セメント	1,229,753	8.0	1,241,034	△ 11,281	99.1
321 その他の石油	991,704	6.4	1,042,515	△ 50,811	95.1
320 揮発油	775,372	5.0	711,044	64,328	109.0
222 鋼材	648,451	4.2	761,096	△ 112,645	85.2
その他	4,485,884	29.1	4,131,517	354,367	108.6

移入は 15,400,344 トンで、貨物量全体の 39.6%を占めており、前年と比較して 387,371 トン（2.6%）増加している。そのうち、自航(フェリー)が 4,677,135 トンと移入全体の 30.4%となっており、前年と比較して 139,330 トン（3.1%）増加している。

自航(フェリー)を除いた主な品種は、完成自動車、セメント、その他の石油であり、それらで移入全体の 31.2%を占めている。